

特選作品に対する審査員講評

1 広報紙部門

○入善町 「広報入善」 令和5年9月号

(6年ぶり、通算22回目の特選受賞)



・特集企画は7ページにわたり、手間と時間をかけた力作。見出しが的確で、町側のメッセージが込められている点も好感が持てる。記事の中見出しも意味ある内容をしっかり取り取り、読者の理解をサポートしている。

・特集ページでは、関わる人々の表情が見え、町民みんなで作り上げている(活動も広報誌も)様子が感じられる。イベント情報のカレンダーの文字を子供たちが書いている点も、家庭や知り合いなどで話題のきっかけになる様子が目に浮かび、とてもよいアイデアだと思った。

・全体的に落ち着いた紙面で、写真の配置やレイアウト、文字の大きさなどが工夫されており、豊富な情報量でも読みやすい広報紙となっている。



2 写真部門

○上市町 「広報上市」 令和5年8月号 表紙(一枚)

(50年ぶり、通算4回目の特選受賞)



・観客の子どもや蝶ネクタイの男性、行司の男性と、すべての登場人物の表情が分かるのが素晴らしい。それぞれの視線が土俵の二人に集約され、絶妙な一体感を生んでいる。

・相撲を取っている子供たちや行司の方の表情、そして背後で見ている方々の様子も素晴らしく、背後の緑も爽やかさを演出している。

・行司や観客の視線が、中央の二人に注がれ、より主役を引き立てている。体操服の青と背景の緑が涼しく、元気な子どもの様子とともに明るさを感じる表紙になっている。

3 映像部門

○射水市 しずくの気まぐれチャンネル

「いみず雫とイナガキヤストの『いみず推し』 Vo1.1『新湊ベイエリア編』」
(2年連続、通算2回目の特選受賞)



- ・一番の見どころはイナガキさんの写真そのものの迫力で、本人から撮影のポイントなどを聞くと、自分も射水に行って撮影したくなった。
- ・SNS 全盛の今の時代に、多くの人々の射水へ行きたくなる気持ちを高める作品となっている。



- ・撮影した理由についてVチューバーが話を広げることによって、射水市の美しい風景が効果的に紹介されていた。「実際に見てみたい」という気持ちにさせる。
- ・編集や音声等、全体的に安定しており、楽しい雰囲気で行進していくので見やすい。



- ・Vチューバーとイナガキさんの掛け合いのテンポが良く、効果音やテロップなどの細かな編集も凝っていて、見ている人を飽きさせない。
- ・写真素人であるいみず雫に、スマホでの映え写真の撮り方をアドバイスしており、本格的な写真好き以外の方にも参考になる内容で、より多くの視聴者に届けようという工夫が感じられる。